



Rotary Club of AMA weekly report.

2015-16年度
国際ロータリーテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 RI 会長 K.R.ラビンドラン 第2760地区ガバナー 加藤 陽一

会長 東海 広光 副会長 西川 広樹 幹事 児玉 憲之

例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル

TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



基目寺観音

2015年10月19日（晴れ） 第2週 第2128回例会

Song ”我等の生業”

Attendance

会員	78名	欠席	13名	出席率	81.70%
----	-----	----	-----	-----	--------

9月分修正出席率の報告

9月6日出席率	100%	欠席	0名
9月14日出席率	100%	欠席	0名
9月28日出席率	100%	欠席	0名

President Time 東海 広光 会長



皆さん、こんにちは。今日は東京ロータリークラブの創立についてお話をいたします。今から95年前の大正9年9月1日（1920年）に設立準備会が開かれ、10月20日チャーターメンバー24名が集まって創立総会が開催され、東京ロータリークラブが誕生いたしました。なお、RIから正式に認証されたのは大正10年4月1日（登録番号855）です。初代会長には米山梅吉（三井銀行）、幹事には福島喜三次（三井物産）が就任しました。ロータリークラブの創立者であるポール・ハリスは「ロータリーの理想と友愛」という本を書き、それを米山梅吉が翻訳し出版しています。その序文の中で梅吉は「ロータリーの最も平明にしてかつ高尚なる主義精神に従える運動は、すでに一般に是認せられ、それが単に社交機関の類にあらざることも明らかにさ

れている。それぞれその祖国に忠良なる臣民にして、いろいろと職業を異にする実業人が、広く友愛の主義によって結合し、まずその道德水準を高めて、自己の利益を第一とする態度を改め、もっぱら国家社会の福利に貢献するところがあるように、奉仕の精神を基調として合同し、政治、宗教の外に立ち、国際の親善、ひいては世界の平和に貢献するロータリー運動の理想と、その組織の真相を周知せしむるために、この書をえたのは、まことに幸いである」と書いてロータリーの位置づけをしています。このようにスタートした東京ロータリークラブでしたが、会員のほとんどが財界の大御所で占められていました。エリート中のエリートから選び抜かれた大企業の社長や重役といった顔ぶれが並んでいます。この最初の人選が前例となって、戦前の日本ロータリーは功成り名遂げた財界人が入るクラブという錯覚を生みだし、更に社会的地位とロータリーの質とを混同する過ちを冒すこととなります。米山梅吉の方針によってロータリーの奉仕哲学の探究に真摯な態度で取り組み、個人奉仕の原則もよく理解されていた反面、クラブ組織としての管理運営はあまり省みられなかった模様で、当初は例会も月一回であり、かつ、たびたび流会し、出席率も悪く、また規約に対する関心も薄かったと言われていす。さて、この発足したばかりの日本のロータリークラブ

Today 10月26日（第2129回）

担当 立松 絹久 プログラム委員長

演題 卓話「四季の会」

山田 幸治君

Next Week 11月 9日（第2130回）

担当 東海 広光 会長

演題 クラブアッセンブリー

地区大会報告

に大きなインパクトを与え、その前進に拍車をかけことがありました。それは大正12年9月1日に発生した関東大震災でありました。関東大震災により東京全滅のニュースが海外に伝えられると、世界各国のロータリークラブから、見舞金や救援物資が贈られてきて、震災直後の9月4日には国際ロータリークラブ会長ガイ・ガンディカーからの見舞い電報とともに、25,000ドルが贈られてきたのをはじめとして、アメリカ、イギリス、カナダなど16ヶ国の実に503のロータリークラブからの義援金が、総額日本円で約90,000円（この金額は現在の140億円に相当するという説もあります。また当時東京ロータリークラブの年会費は120円でした）が贈られてまいりました。東京ロータリークラブは、この海外のロータリークラブからの友情に感動して、ロータリー精神に目ざめ、これを機会に本格的な社会奉仕活動を始めることになるのであります。関東大震災で生じた多くの孤児を救うために、東京市孤児院の中に「ロータリーの家」を新築して寄贈したり、東京、横浜の焼失した188の小学校へ備品を贈呈したり、焼失産科医療病院への寄付、殉職警察官遺族への援助などを行い、こうして海外からの支援に触発されて、東京ロータリークラブはさまざまな救援活動を行い、それは会員たちにロータリークラブの力と存在の重要性を認識させ、会の発展を強く推進したのであります。この大震災があった1923年は、ロータリーの奉仕の理念を表す唯一の文章として、現代まで受け継がれている決議23-34が採択された年でもあります。明日、10月20日は東京ロータリークラブの創立記念日ということで、今日は東京ロータリークラブの創立についてお話をさせていただきました。明後日、10月21日（水）には、東京ロータリークラブ創立95周年記念例会が帝国ホテル3階富士の間で18時より開催されます。



Secretary Report

児玉憲之 幹事

- 1 鈴木正徳君に第4回米山功労者感謝状（マルチプル）が参りました。



- 2 鈴木和彦君に第18回米山功労者感謝状（メジャードナー）が参りました。



「夢への挑戦」

元バレーボール国際審判員 西口昭徳氏



1. 人生設計図（人生観）

人生をより豊かに生きるための人生観は人それぞれである

熊本県の天草で生まれ育った自分は、将来は郷里天草で教師をやる事が夢であった。ましてや、愛知県で教員となり、国際審判員として世界のバレーボールに挑戦するような青写真はなかった。

2. 一会一生（出会いで人生が変わる）

昭和39年6月大学4年生。教員免許を取得するための教育実習を熊本の母校でやる予定で準備をしていたとき、友

人に名古屋で教育実習をやることを薦められ、知人の紹介で名古屋市立菊里高校でお世話になった。自分にとっては、縁もゆかりもない高校であったが、名古屋では名門中の名門高校である。そこで指導教官のK先生との出会いである。先生は、愛知バレーボール協会、東海バレーボール連盟の理事長、全国体育連のバレーボール専門部長として活躍されていた。「人生は出会い」と言うが、自分にとってはまさに運命的な出会いであった。これを機に、愛知県で教員をやりながら、バレー界で生きていくことを決意した。ありがたいことに、愛知県バレー協会は、K先生のお力添えもあって、自分を暖かい目で育てて頂き、就職して4年目に、国内トップライセンスであるA級審判員の資格をとらせてもらい、近い将来、国際審判員を目指すようにとのK先生の力強いお言葉をもらい、郷里天草に帰ることを断念した国際審判員を目指して

昭和39年と言ったら第18回東京オリンピックの年で、教育実習が終わったら大学へ戻り、オリンピックの学生補助役員として10月10日の開会式からバレーボール会場である駒沢体育館で貴重な体験をした。バレーボールがはじめてオリンピックの正式種目として採用された記念すべき大会である。そこで東洋の魔女と呼ばれた日本の女子が金メダル、男子が銅メダルの快挙で世界を驚かせた。それを機に、日本のバレーボールが世界に注目されるようになった。そして、日本のバレーボールは急激な躍進で、1972年のミュンヘンで男子が金メダル、1976年のモントリオールで女子が再び金メダルを獲得し、名古屋でも毎年国際試合が開催されるようになり、A級審判員では満足することが出来ず、国際審判員を目指すことになる。

3. ライバルとの戦い

国際審判員の資格を習得するためには、日本バレーボール協会が推薦を、そして国外で講習を受け、テストに合格しなければならない。(2年に1度、アジアゾーンの講習会開催) そのためには、審判実績、審判技術、A級審判員としての顔で、500名の全国A級の頂点を目指さなければならない。東京・大阪と言った関東・関西に比べ、名古屋は地域的に不利である。その壁を乗り越えるためには、倍も3倍もの努力が必要である。そんな矢先の1976年に、アジアゾーンの講習会が日本で開催されることになり、願ってもないチャンスが訪れ心が躍る。しかし、結果は選考から漏れ受講することができなかった。さりとて、一度選考

のまな板にのった以上、簡単にあきらめるわけにはいかない。東京・大阪のライバル達に勝つためには、彼らに負けないだけの実績と技術を磨く以外にないと思い、日本バレーボール協会の審判員から再三にわたり、名古屋に今のところ国際審判員を作る予定はないと、半ば諦めさせるような宣告を受けたが、ここまできて夢を捨てるわけにはいかない。今のピンチを乗り越え、チャンスを待つ辛抱と忍耐で自分との戦いであった。そして今まで以上に本気で勝負、挑戦することを心に決め、実績で日本一と万人から評価される為の努力を怠ることなく、東京・大阪に機会ある度、自費で出向き、実績を重ねた。

4. 一以貫之(一意専心)

一つの道にのめり込み、目的達成のために信念を貫く

やるからには本気で勝負する。挑戦無くして成功無し。の気持ちを信条として、目的を達成するまで絶対諦めないことを心に誓った。

5. 不可能を可能にした実績

6. 感動と興奮

日本協会代表派遣決定(香港)

1979年1月、日本バレーボール協会審判員審査長より電話が入り、3月に香港で開催される国際審判員習得講習会に、日本バレー協会から1名派遣することが決定したとの知らせがあり、一瞬自分の耳を疑った。委員長からは、君の、ここ3年間の実績は国内で群を抜き、その熱意と情熱が評価され、香港へ派遣することに成ったとの連絡を受け、あまりにも突然の朗報に、今迄体験したことがない人生最高の感動と興奮で、その夜は眠れなかったことを今でも忘れることはない。不可能と言われながらも、決して諦めることなく一途に夢を追い求め、目的を達成することが出来たことは、自分の人生を支える力となった。

国際審判員として

7. 世界への挑戦

日本を代表する審判員を目指し、夢はオリンピック・世界選手権・ワールドカップで審判をやることを目標に、さらなる技術の向上と、審判道を極めるための努力と挑戦を怠らなかつた…高度化する技術、スピードとパワー、高さのバレーに対応できる審判能力が求められ、正月休みを返上して実業団チームの練習に出向き、訓練と研修をこなした。その結果、オリンピックで笛を吹くことは出来なかつた。

委 員 会 報 告

「ちびっこ農園収穫祭」

青少年奉仕委員会 委員長 山田尊久君

日時 平成27年10月12日（月）9:00～

場所 大治町ちびっこ農園



秋晴れの中、150名程の親子が、手袋をはめ大きなスコップや小さなスコップを持って、名札のついた自分が植えた場所のさつまいもを一生懸命掘りました。親子の楽しそうな笑顔と会話をまじかで見、こちらまで楽しくなりました。これは、さつまいもの植え付けから収穫までの農業体験を通して親子のふれあいを深め、体験型イベントにより地域のコミュニティーを深め、子ども達の社会性を育てることが狙いで行われている素晴らしい事業だと感心しました。ボーイスカウト大治第1団の子ども達もたくさん参加されていました。

例 会 変 更

例会日	クラブ名	場 所
10/27(火)	名古屋城北	栄東急REIホテル
	名古屋錦	名古屋ガーデンパレス
10/28(水)	名古屋守山	マリオットアソシアホテル
10/29(木)	名古屋大須	休会
10/30(金)	名古屋みなと	マリオットアソシアホテル
	津島	休会
11/4(水)	名古屋名北	APAホテル(錦)



たが、ワールドカップ2回（1981／1985）、インドのアジア大会、ロス五輪アジア予選を兼ねたアジア選手権で、日本を代表して審判員として参加することが出来たことは、自分なりに誇りに思う。

8. 自己満足は進歩無し（主な審判実績は資料に掲載）

1989年ロシア・ウクライナのキエフで開催された国際大会で、前回のオリンピックで金メダルのロシア対世界選手権の金メダルのキューバの文字通りの世界一を決める試合の主審を務め、半ば自己満足に陥り、当面の大きな目標がなくなった。

9. 引退のタイミング

自分ではまだやれると言う気持ちと、現役を何時退くのかの心の葛藤に悩む。世代交代と言葉で言うことは簡単であるが、これには大きな勇気が必要。後に続く若い世代を育てるためにも、元気でまだ力があるときに身を引くべきと考え、国際審判員の定年は55才であるが、49才で現役を降り、その後は後進の指導に当たる。

10. 感謝

審判人生を通して、多くの仲間と出会い、人と人との繋がり、数多くの貴重な体験を通して、人生を生き抜く自信と勇気もらった。そして、ここまで続けて来れたのは、家族や職場の理解と協力、そして仲間の支えがあったことで、ただ感謝、感謝の気持ちで一杯である。とりわけ教育実習でのK先生との運命的な出会いで自分の人生が変わり、今の自分があることに心から感謝したい。

11. バレーボール界の現状

1964年東京オリンピックー女子金メダル・男子銅メダル

1968年メキシコオリンピックー男女とも銀メダル

1972年ミュンヘンオリンピックー男子金メダル

1976年モントリオールオリンピックー女子金メダル

1984年ロスオリンピックー女子銅メダル

2012年ロンドンオリンピックー女子銅メダル（ロス以降28年ぶりの快挙）

来年のリオオリンピックの出場権をかけた、先般のワールドカップ、残念ながら日本の男女チームは出場権をとることが出来なかった。が、日本男子は近年にない活躍で、国民を感動させてくれた。来年の5月に日本で開催されるオリンピック世界最終予選で、再度出場権をかけて戦うことになる。なかでも愛知県の出身である石川選手・深津選手・山内選手の活躍を期待したい。

東海広光 会長

- ・西口先生、ようこそあまRCへ。今日は世界と日本のバレーボール界の現状をお話下さい。よろしくお願いいたします。
- ・山田尊久君、ちびっこ農園収穫祭ご出席、有り難うございました。
- ・篠田正志君、立松君、楽しいIDMを有り難うございました。いよいよ12月より準備理事会が始まります。頑張ってください。
- ・孫が土曜日に満10ヶ月となりました。お爺さんとして疲れる毎日を送っております。体力をつけて頑張ります。

西川広樹 副会長

- ・11月19日ボーショレヌーボーの会、名鉄グランドホテル12階です。

児玉憲之 幹事

- ・元国際バレーボール審判員の西口昭徳様をお迎えします。卓話、よろしくお願いいたします。

後藤袈裟美君

- ・(株)三洋化成創業60周年記念社員中国研修旅行を無事終えて。

北野庸夫君

- ・家内と本四国のお遍路。前回行ってなかった所に参拝してきました。レンタカーを借りましたが、結構疲れました。

前田重廣君

- ・例会ゴルフに3年ぶりに優勝することが出来ました。西川会長に感謝感謝です。

伊藤正征君

- ・ご心配おかけしました。妻の手術が無事終わり、元気に退院しました。家事は大変ですね。痛感しました。

中西 巧君

- ・今年6月の段階で14kgの減量に成功しましたが、その後4ヶ月で2kgのリバウンドが確認されました。反省します。

篠田正志君

- ・東海君、ご馳走様でした。またご指導お願いします。
- ・栗木君、先日はご馳走になりました。

田中正博君

- ・栗木パスト会長、先日は大変ご馳走様。
- ・土曜・日曜日と好天の中、高山・富山へ行き、紅葉を見て美味しい食事をしてきました。

臼井幹裕君

- ・栗木直前会長、ご馳走様でした。
- ・先日のゴルフ例会で、宇津山君、板津君に送迎してもらいました。有り難うございます。

横井久雄君

- ・東海会長、山田尊久委員長、ちびっこ農園「さつまいも」収穫祭、大成功に終わりました。ご支援有り難うございました。
- ・本年も大治町活性化事業で、バス通り2ヶ所にイルミネーションでライトアップします。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

青本道春君

- ・妻の誕生日の花を有り難うございました。大変喜んでいました。

家田安啓君

- ・日本シリーズが楽しみです。

藤田秀樹君

- ・ニコボックス委員の皆様、お疲れ様です。私もニコボックス委員として、これから頑張りますのでよろしくお願いいたします。

福嶋敏雄君

- ・ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

稲垣秀樹君

- ・本日は途中早退させていただきます。

岩島裕芳君

- ・ニコボックス副委員長のために！

北澤英一君

- ・先週、心臓カテーテル手術をしました。少しは楽になるかな。

栗木和夫君

- ・本日卓話者、西口先生、楽しみにしています。

黒野晃太郎君

- ・本日医者より解放されました。

宮下忠克君

- ・今朝、時計のバンドが切れました。何かおきますか？今日は静かに居酒屋へ行きます。

水谷安紀君

- ・田中正博君にとめられて。

大西晃弘君

- ・昨日、娘の成人式の衣装の前撮りがありました。

鈴木正徳君

- ・昨日、無事に誕生日を迎えることが出来ました！

立松絹久君

- ・ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

山田尊久君

- ・大治ちびっこ農園の収穫祭に参加。秋空の中、子供達の歓声が響き渡った。

投函件数27件 合 計 63,000円